

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28 年 2 月

計画の名称	5 石川県の河川における安全で良好な環境づくりの推進									
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)			交付対象	石川県					
計画の目標	河川における良好な環境の整備により、豊かで潤いのある県民生活の実現を図る。									
計画の成果目標 (定量的指標)	・浅野川において、親水空間を確保した護岸等の延長を1,320m (H22) から2,142m (H26) に増加。									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考
							当初現況値	中間目標値	最終目標値	
							(H22当初)	(H24末)	(H26末)	
① 浅野川で親水空間を確保した護岸等の延長							1,320m	1,742m	2,142m	他計画から移行
全体事業費	合計 (A+B+C)	90百万円	A	90百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
石川県において評価を実施	計画期間終了後
	公表の方法
	石川県ホームページで公開

1. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・親水護岸の整備により、地域住民が水辺にアプローチできるようになり、憩いの場として利用されている ・管理用通路の舗装や堤防に階段を設置して結果、一連区間が遊歩道としてつながり、ウォーキングコースとして利用されている ・河川敷が広い場所に広場を整備した結果、散策やイベント、学校のクラブ活動等で活用されている 				
II 定量的指標の達成状況	指標①(浅野川で親水空間を確保した護岸等の延長)	最終目標値	2,142m	目標値と実績値に差が出た要因	・整備効果の早期発現を図る為、左岸側一連区間を遊歩道としてつないだ為、目標値を達成した
		最終実績値	3,300m		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

2. 特記事項 (今後の方針等)

・引き続き整備を進めていき、事業効果発現に努めたい
